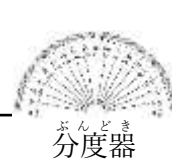


【算数】

「※」は学習するときのヒントです。



＜学習内容＞

◆「角」（教科書 60～63 ページ）

(1) 教科書 177 ページにある「角をつくる円の板」を使って、いろいろな角をつくりましょう。

※ミシン目にそってハサミで切り取ると、きれいに切り取れるよ。

※オレンジ色の板をおさえて、水色の板を動かしてみよう。

※円の板を回転させて、角を増やしたり減らしたりしながら、「大きい角」「小さい角」をつくってみるといいよ。

分度器と三角定規セットを用意しよう。



分度器はどんな時に使うのかな。



(2) 教科書 60、61 ページにある①から⑦の角の大きさを、三角定規の角を使って調べ、気付いたことを下の表に書きましょう。

※「三角定規の角〇こ分」「直角の〇こ分」などと気付いたことを書き表すと、角の大きさがわかるね。



番号	三角定規の角を使って気付いたこと
①	
②	
③	
④	
⑤	
⑥	
⑦	

あれ？ ②と④の角は「〇こ分」などと、うまく角の大きさを表せられないよ。

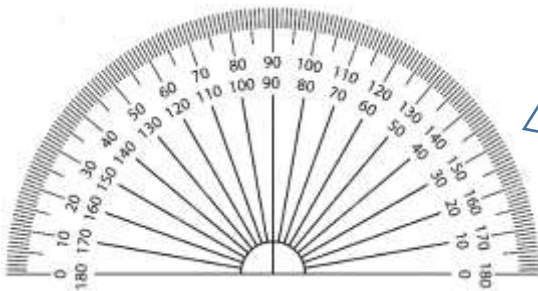


角の大きさを表すには、どうすればいいのかな？

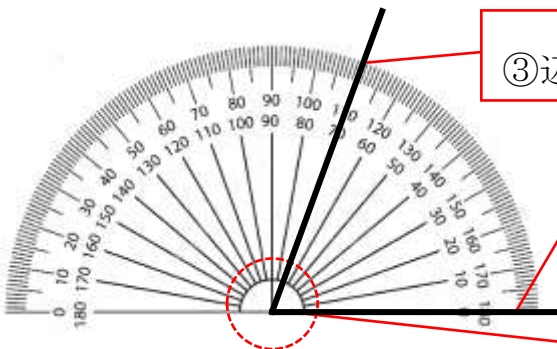
角の大きさをはかるには、^{ぶんどき}分度器を使います。

(3) 下の四角にあてはまる言葉を書き入れましょう。

※教科書 62 ページを参考にして言葉を書き入れよう。



直角を 等分した 1 こ分の大きさを 1 度といい、 ° と書きます。度は角の大きさの です。角の大きさのことを ともいいます。



③ 辺アウと重なっている をよむ。

② ° の線を辺アイに重ねる。

① 分度器の を頂点に合わせる。

(4) 教科書 63 ページの 1 を行い、ノートか取組シートに答えを書きましょう。

(5) 身の周りのいろいろな物の角度を分度器で測って、ノートか取組シートに記しましょう。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

◆角（教科書 P60～P63）

- 分度器で角の大きさを正しく測る際には、次のような点に注意するとよいです。「0° の線を辺に重ねたとき、分度器の中心と頂点がずれていないか確認する」「目盛りをよむときは、分度器の真正面からよむ」「辺に合わせた線が 0° となっている方の数値をよむ」「辺が短いときは、辺を延長してから測る」など。
- 角の大きさを予想してから角を測ることで、量の感覚が少しずつ育まれます。「だいたい何度くらいかな。」と考え、楽しみながら角の大きさを測る姿が見られたら褒めていただければと思います。